

妻木城御殿跡(陣屋跡・土屋敷跡)散策マップ

妻木城跡へ 山頂まで徒歩25分、急な登りです。
服装・靴は山歩きのスタイルで。



屋敷を囲む石積み



井戸跡



御屋敷へ入る石段



浦山第二堰堤

国指定登録有形文化財
昭和18年に竣工した砂防ダム
戦時中でコンクリートが使えず、石
だけで積まれた(空石積み)
再現不可能な土木遺産として指定さ
れる



5mの高石垣

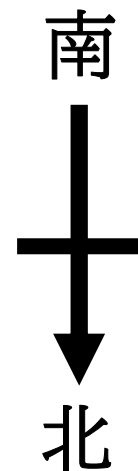
高さ5mある石垣
南端は浦山第二堰堤建設によって壊さ
れ、江戸時代の石垣と昭和時代の石垣
が結合された。



門跡の石柱



崇禅寺
県道19号方面



関ヶ原の戦い(1600年)の後、7500石の旗本になった妻木氏は、交代寄合として参勤交代を行う格式を持ちました。この時に陣屋として拡張されたと考えられています。
万治元年(1658)妻木頼次が39歳で急死し、跡継ぎが無く妻木家は断絶し領地は返納されました。領地のほとんどは幕府直轄領になりましたが、妻木村は分家である上郷妻木家が500石を、下郷妻木家が800石(合計で3000石)を治めて明治維新まで存続しました。
陣屋は断絶によって取り壊され農地になりました。

発行 妻木城址の会 令和2年4月 〒509-5301土岐市妻木町3051-1八幡神社内
<http://www.tumagijyou.jp/>
このマップは、土岐市教育委員会『妻木城跡・土屋敷跡発掘調査報告書』2002の測量図を参考に作図しました。